

1 学校教育目標<ミッション>

- 大分県臼津地区の特別支援学校として、特別支援教育のセンター的機能の発揮に努め、地域の特別支援教育充実に貢献する。
- 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援を重ね、児童生徒が生涯にわたって地域や家庭の中で主体的・意欲的に生きていく力を育てる。

2 中期目標

- (1) 生涯にわたって主体的に生きていく力の育成を目指して、児童生徒一人一人の発達段階や特性に即した教育活動の充実に努める。
- (2) 一貫性・系統性のある教育課程の編成と児童生徒が主体的に臨める授業改善に努める。
- (3) 安全・安心を最優先に児童生徒が過ごしやすい教育環境の整備・改善を進める。

3 年度目標<本年度重点目標>

- (1) 児童生徒が想定される災害や危機に際して安全に行動できる力を育てる。
- (2) 地域の教育資源を積極的に活用した学習活動の充実に努める。
- (3) 地域・保護者のニーズに応じた特別支援教育に関する情報提供・相談支援に努める。

4 目指す学校像<ビジョン>

- 「できなかったことができるようになる」
- 「通いたい学校・通わせたい学校・勤めたい学校」

5 目指す教師像

- (1) **信頼**しあう教師
- (2) **協働**しあう教師
- (3) **リーダーシップ**をもつ教師

6 目指す児童生徒像

注：「言」は、言語活動の略

知：基礎的な知識を習得し、自ら学びに向い、自己選択・自己決定をし、学習したことを生活に生かす子ども。

徳：ルールやマナーを守り、人や社会との関わりの中で、自分や他者を認め、協力して活動する子ども。

体：健康で安全に生活できる知識・技能と体力を身につけた子ども。

言：自分の意思を伝えるスキルを身につけ、相互に思いを交わして、自己の考えを広げ深める子ども。

7 学部目標

注：「言」は、言語活動の略

(1) 小学部

《単一障がい学級》

- 知：いろいろな経験を通して、基礎的な知識を習得する
- 徳：身近な人との関わり方が分かり、生活に必要な決まりやマナーを守る
- 体：元気に活動し、生活のリズムを身につける
- 言：自分の意思を言葉で相手に伝える

《重複障がい学級》

- 知：いろいろな経験を通して、様々な活動に慣れる
- 徳：身近な人との関わる中で、ルールやマナーを知る
- 体：身近な人と一緒に活動し、生活のリズムを身につける
- 言：自分の思いを動作や発語で相手に伝える

《訪問教育学級》

- 知：担任と一緒に様々な経験を積む
- 徳：担任と一緒にルールやマナーを経験する
- 体：担任と一緒に身体を動かす
- 言：自分の気持ちを表情や息づかいで担任に伝える

(2) 中学部

《単一障がい学級》

- 知：基礎的な知識を使って、自ら判断し、実践しようとする
- 徳：自己と他者の違いに気づき、人や地域と関わる中でルールやマナーを守り、自分の考えを伝え合って活動する
- 体：基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全に生活できる知識や技能を知り、運動する習慣を身につける
- 言：言葉で、相互に思いを伝えあう

《重複障がい学級》

- 知：いろいろな経験を通して、様々な活動を知る
- 徳：身近な集団の中で、ルールやマナーを知る
- 体：生活のリズムを身につけ、定期的に運動することに慣れる
- 言：自分の思いを動作や発語で友だちに伝える

《訪問教育学級》

- 知：身近な教員と一緒に様々な経験を積む
- 徳：身近な教員と一緒にルールやマナーを経験する
- 体：身近な教員と一緒に身体を動かす
- 言：自分の気持ちを表情や息づかいで身近な教員に伝える

(3) 高等部

《普通科・職業生活科》

知：習得した知識を使い、自己選択・自己決定をし、学習したことを生活に生かす

徳：集団の一員として、これまでに学んだ社会のルールをふまえ、社会生活の場において互いに協力し合い活動する

体：健康で安全に生活できる知識・技能と1日を通して活動できる力を身につける

言：自分の気持ちを伝えたり、他人の意見を聞いたりすることで、考えを広げ深める

《普通科・生活教養科》

知：いろいろな経験を通して、学習したことを活かし自信を持って参加する

徳：社会の中で、ルールやマナーを知る

体：定期的に運動することを身につけ、体調を整え、健康で安全に生活できる

言：自分の思いを動作や発語で周りの人に伝え合う

《訪問教育学級》

知：周りの人と一緒に様々な経験を積む

徳：周りの人と一緒にルールやマナーを経験する

体：周りの人と一緒に身体を動かす

言：自分の気持ちを表情や息づかい等で周りの人に伝える

8 各分掌の本年度重点目標

(1) 教務部

- ①児童生徒が災害や危機に際して、安全に行動できる力を育てるために、防災教育コーディネーターと連携して、防災教育の全体計画を立案し、実施、評価に取り組む。
- ②地域の教育資源を活用した学習活動をとおして、3学部の取り組む各教科等との関連性と系統性を確立する。
- ③地域や保護者のニーズに応じた、教務に関わる情報の提供を、積極的に発信する。

(2) 研修部

- ①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業実践を通して、授業力向上に努める。
- ②地域、保護者のニーズに応じた指導、支援に関する情報の提供に努める。

(3) 生徒指導部

- ①自分自身で命を守る力を育むための防災教育・安全教育の実践に努める。
- ②防災・安全教育に関する意識を高め、知識を身につけるための研修を実施する。

(4) 保健部

- ①緊急時対応訓練をとおして、新しいマニュアルの検証を行う。
- ②保健部としての災害時の対応を考える。(備蓄薬の保管も含む)
- ③掲示物の作成や、お昼の放送での伝達、全校集会でのお知らせをするなどして保健指導の充実をはかる。

(5) 進路指導部

- ①進路便りの発行と HP への掲載を隔月で行い、進路指導や教育相談に関する情報発信に努める。
- ②進路指導や教育相談について、地域の学校や保護者、関係機関への情報提供と連携を図る。

(6) 特別活動部

- ①あいさつ運動を通じて、すすんであいさつができた児童生徒100%をめざす。
- ②各行事後にホームページに活動の様子を掲載する。

(7) 事務室

- ①学校の安全・安心の確保
危険箇所等の対応を迅速に行う、工事等業者作業中の安全確保等をとおして児童・生徒・職員等の安全・安心の確保に努める。
- ②会計事務の正確さの確保
迅速・正確な会計事務の実施に努める。